

科目名	<b>財政学</b>	科目分類	■専門科目群 (第1グループ) □総合科目群 (第2グループ)
			経済学科 □必修 ■選択
			法律学科 □必修 ■選択
英文表記	<b>Public Finance</b>	開講年次	□1年 ■2年 □3年 □4年
ふりがな	くすやま ひろあき	開講期間	□前期 ■後期 □通年 □集中
担当者名	<b>楠山大暁</b>	修得単位	<b>2単位</b>
授業のテーマ	政府の役割と仕組みを経済学的に理解し、あるべき財政の姿を設計する		
到達目標	財政の現状について経済学的に理解し、あるべき財政の姿を自分なりに描けるようにする		
授業概要	今、日本の財政は極めて厳しい状況にあり、痛みを伴う改革が求められています。よりよい日本の未来を作るために、改革はまったなしで実行に移さなくてはなりません。本講義では、複雑な財政の問題を経済学的に分析して理解することで、あるべき財政の姿を考えていきます。		
授業計画			
第1回	ガイダンス、財政学の系譜		
第2回	政府の役割		
第3回	市場と政府		
第4回	財政の仕組み		
第5回	公共財		
第6回	経済政策		
第7回	社会保障制度		
第8回	中間テスト		
第9回	社会政策		
第10回	税制の設計		
第11回	直接税		
第12回	間接税と税制改革		
第13回	政府の借金		
第14回	地方分権		
第15回	地域包括ケアシステムとコンパクトシティ		
第16回	定期試験		
授業時間外の学習	1. 授業前にプリントの問題に目を通してください。理解できる箇所、理解できない箇所を明確にしてください。(2時間程度) 2. 授業後に、プリントの復習をしっかりと、すべてを理解できるようにしてください。(2時間程度)		
履修条件 受講のルール	ミクロ経済学Ⅰ、マクロ経済学Ⅰ、財政学入門を履修していることが望ましい。 教科書を購入してください。		
テキスト	山重慎二(2016)『財政学』中央経済社		
参考文献・資料	小川光・西森晃(2015)『公共経済学』中央経済社		
成績評価の方法	【中間テスト(40%)、定期試験(60%)】 上記評価項目を基にして総合的に判断します。 ・出席回数が規定に満たない場合及び授業料その他納入金等の全額を納めていない場合は、試験を受けることができません。 ・出席確認時に不在だった場合は原則としてその回は欠席とします。		

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業中に無許可で退出した場合は欠席とします。</li> <li>・授業の理解、および予習復習が充分であることを確認するため、第8回授業時に中間テストを行います。</li> </ul>
オフィスアワー	<p>毎週月曜日・金曜日 9:00～10:30</p> <p>※これ以外の時間帯は必ず事前に予約してください。</p>
成績評価基準	<p>平成28年度（2016）以降入学した学生</p> <p>秀(100～90点)、優(89～80点)、良(79～70点)、可(69～60点)、不可(59点以下)</p> <p>平成27年度（2015）以前に入学した学生</p> <p>優(100～80点)、良(79～70点)、可(69～60点)、不可(59点以下)</p>
学生へのメッセージ	現在の政府の活動について理解し、望ましい政策のあり方について考えましょう。